

あなたと
どこでも
アート
着がわり
プロジェクト

インスタレーション

わたしたちは時や場所や状況に備え、衣服を着替え、生活を楽しんでいます。同じように住まいの空間も、その時、もっとも相応しく装うことができたならば、暮らしはどんなに豊かになるのでしょうか。たった一度だけの人生、その時々、もっとも好ましい環境の中にいたいものです。身体が成育するように、生活だって成長するのですから。住まいもTPOできがえて成長することをインスタレーションで表現し、この実験的空間で、建築、美術、音楽、演劇、ダンスのセッションを展開します。

10月10日(土) 午前10時～午後4時 会場:KAWAGUCHI ART FACTORY

埼玉県川口市元郷2-15-26 日本金属鑄造工業株式会社内
京浜東北線川口駅東口より徒歩20分。または、東京メトロ南北線直通 埼玉高速鉄道川口元郷駅 出口1より徒歩約5分

午前10時～午後2時

■ 建築としてのインスタレーション 芝浦工大南研究室 他

木造軸組で空間の骨組みと間仕切りを組み立てる。

午後2時～午後3時

■ プロダクトとしてのインスタレーション I 芝浦工大南研究室/JIA埼玉 他

出来上がった軸組に藤双子織りで内装を纏う。

午後3時～午後4時

■ プロダクトとしてのインスタレーション II See Sew(浅見俊哉、田村香織)

予め記憶を映した布地で外装を纏う。

これらのインスタレーションに合わせ河崎 純が即興で演奏し、奈佐健臣がインスタレーションの模様を実現するジャムセッションが行われます。

10月11日(日) 午前11時～午後3時 会場:KAWAGUCHI ART FACTORY

午前11時～午後1時30分

■ 舞台装置としてのインスタレーション 快飛行家スミス(奈佐健臣、北川原梓)

10月10日のインスタレーションでつくりあげた日常の空間の衣裳を剥がし、非日常の演劇空間への衣替え。

午後2時～午後3時

■ 「演劇」としてのインスタレーション 「朗読者」の上演:芥川龍之介作『蜘蛛の糸』

朗読:奈佐健臣/演出:北川原梓/演奏:篠田浩美

「朗読者」それは公演そのものをインスタレーションとして提示する「まったく新しい朗読」

10月12日(月・祝) 午後2時～午後3時 会場:KAWAGUCHI ART FACTORY

■ 「衣と体のせめぎ合い」お披露目パフォーマンス

パフォーマーとともに創りあげるコスチューム制作ワークショップ。公募・書類審査によって選ばれたコスチュームを制作し、それを身につけたダンサーがお披露目パフォーマンス第2弾。

ダンサー:海保文江、桜井 陽、蒼 浩人/コスチューム制作:赤尾木織音、山田好恵、江間篤子、藤田知穂、福田麻衣

アート井戸端かいぎ

展開したインスタレーションは、住まいづくりを意思決定のヒエラルキーによってデザインするN.J.ハブラーケンの思想にもとづいて企画しました。この思想に倣えば、「建築としてのインスタレーション」は「サポート」、「プロダクトとしてのインスタレーション I」は「インフィル」、「プロダクトとしてのインスタレーション II」は「クラディング」に該当します。午前中はこの地域を知るためのプレゼンテーション。午後からのハブラーケンの思想と日本の建築が昔から持っていた特質、可変性を紹介するプレゼンテーションです。そして、変わるために着替えなければならない洋装と着直し着こなして変わることができる和装、これらの比較、変わり方の知恵の違いから和洋の特質を考える、この風土の住まい方の伝統を振り返るパネルディスカッションを企画しました。

10月18日(日) 午前10時～午後4時30分 会場:川口市芝公民館

埼玉県川口市大字芝3905番地
京浜東北線藤原駅東口より徒歩15分。または、藤原駅東口国際興業バス 藤06 新井宿駅 芝公民館入口 下車 徒歩2分

午前10時30分～午前12時

■ プレゼンテーション 1:津村泰範「かつてこの近くにあった魅力的な住宅…堀口捨己の『紫煙荘』」その他

午後1時30分～午後4時30分

■ プレゼンテーション 2:南 一誠「ハブラーケンの思想」

■ プレゼンテーション 3:内田祥哉「変わることと和構法」

■ プレゼンテーション 4:高橋和志「洋装のような建築」

■ プレゼンテーション 5:中村 元「和装と洋装」

■ パネルディスカッション:内田祥哉/高橋和志/津村泰範/中村 元/南 一誠

司会:三浦清史(SMF代表)

これらの
イベントは
いずれも
申込制です。

主催:あなたとどこでもアート実行委員会/SMF(Saitama Muse Forum)

申し込み・問合せ:JIA埼玉 TEL & Fax.048-882-7526 まで、参加ご希望のイベント日時、および連絡先(メールアドレスなど)を明記の上、ご連絡下さい。

企画協力:快飛行家スミス/See Sew/KAWAGUCHI ART FACTORY/小川順一郎(川口市教育委員会)/

芝浦工業大学 南研究室/日本建築家協会関東甲信越支部埼玉地域会(JIA埼玉)/

新木場倶楽部(10月18日開催のシンポジウムは「新木場木まつり2015秋」と共催プログラム)

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し
再創造するプラットフォームをめざしています。

<http://www.artplatform.jp>

「き、がわりを」き、がえる

パフォーマー、プレゼンター、パネリスト紹介

See Sew / 浅見俊哉 (写真家) と田村香織 (衣裳家) の視点による新しいプロダクトを提案するアーティストユニット。

浅見俊哉 / アーティスト、写真家、美術教師。1982年東京生まれ。2006年文教大学教育学部美術専修卒業。2008年KAPL (コシガヤアートポインタラボ) 設立。現在埼玉県越谷市在住。

田村香織 / パタンナー・衣裳家。東京生まれ。筑波大学藝術専門学群構成専攻総合造形分野卒。京都料理屋厨房を経てアパレル企業パタンナーとして勤務。傍らで舞台衣装を中心とした一点ものの衣服 [HAReGI] を作る。着る人のこころとからだをハレにする造り手の見える服作りを試みている。

河崎 純 / 演劇、ダンスなどの舞台音楽を中心に、これまでに約60本の作品で音楽監督、作曲を担当し、自ら舞台公演の構成、演出も行う。トルコの振付家との身体パフォーマンス作品による共同作業、2014年はドレスデン交響楽団新作にソリストとして招聘される等、国内外で活動。パフォーマンス作品のワークショップ、講義も行っている。蕨市在住。

海保文江 / モダンダンスを志保野ひろみに学ぶ。'04年より藤井 公・利子、上原尚美、藤井 香に師事。(社)現代舞踊協会制定'06年ダンスプラン賞。'07年同新人賞・同新人振付賞・'10年同奨励賞受賞。'07年秋田全国モダンダンスコンクールグランプリ受賞。'14年東京なかの国際ダンスコンペティション創作部門2位。'14年フィンランド振付家テロ・サーリネン作品『MESH』出演。近年は屋外や美術館、ギャラリーなどでも踊る。

桜井 陽 / 子供の頃にクラシックバレエを習う。その後モダンダンスを藤井公・利子に師事。近年は美術作家とのコラボレーションを多く手がけ、美術館・ギャラリー・屋外などさまざまな場所で踊る。最初から最後まで動きを止めないこと、常にどこかが動いていることをテーマとしている。

蒼 浩人 / 演劇・マイム・ダンス・拳法・舞踏などを経て、現在は禅・科学・気功・自然・芸術などを礎とするアルト一館の及川廣信氏を師事。踊りによって人間の可能性を切り開こうと日夜、仕事や家庭や自分と向き合っている。

朗読者 / 「言葉を語る者だけが朗読者ではない。音も、明かりも、美術も、踊りも、空間そのものも、物語が始まったその時から共に朗読する饗宴者である」というコンセプトの下、その都度選出したアーティストと共に、その都度選出した文学作品を、一つの公演作品へと作り上げ表現する。コンセプトのキーポイントは「空間そのもの」。

快飛行家スミス / 奈佐健臣と北河原梓による演劇を中心とした多角的表現ユニット。「観客が経験・体感する舞台」をモットーに、劇場を飛び出し、日本家屋、鋳物工場、洋館など「場所そのもの」に拘った独創的な一人芝居を上演。舞台上に留まらず、エントランスから客席までに及ぶ空間演出。言葉、声、身体、空間、その全てを繋ぐ美的世界観をプロペラに、演劇界にとどまらず、ジャンルを超えた表現の空を旋回している。

奈佐健臣 / 俳優・ナレーター。大沢事務所所属。状況劇場出身。舞台・映像出演の他、千本を越えるCMナレーションも手がけ、高い評価を得ている。スポーツ、釣り、バラエティと多岐にわたる番組のナレーションを担当している。

北川原 梓 / 作家・演出家・美術家。美術・建築を学んだ後、脚本家・演出家へ転進。言葉の「繊細な色気、熱、美しさ」に定評がある。また、グラフィックアーティスト 木立十の顔も。

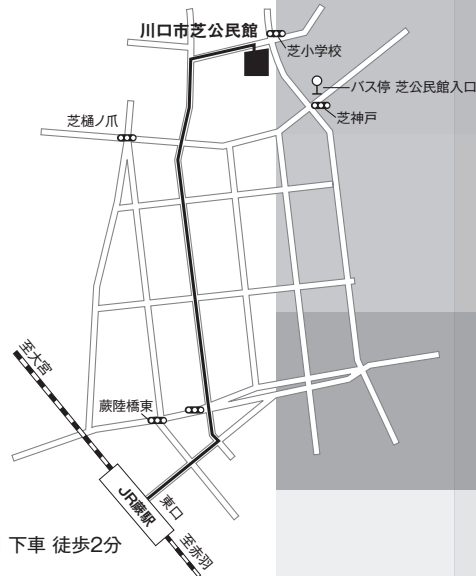
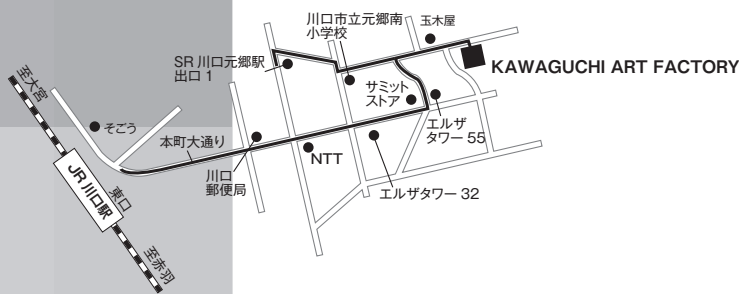
内田祥哉 / 建築家。1947年東京帝国大学卒業、通信省、日本電信電話公社を経て東京大学助教授、教授、明治大学教授、金沢美術工芸大学教授など歴任、現在内田祥哉建築研究室主宰、東京大学名誉教授など。工学博士(論文は「建築構法の分析と総合の研究」)。

南 一誠 / 芝浦工業大学教授。1979年東京大学卒業後、同大学院工学系研究科建築学専攻修了、マサチューセッツ工科大学大学院修了。同大学院でハブラーケンに師事。工学博士、S.M.Arch.。郵政省建築部、建設省官庁営繕部を経て現職。

高橋和志 / 気仙沼港で船大工の家系として造船業を営んでいた家業が、漁船漁業の環境変化から廃業するのを機に、造船業時代に培った独自技術で建築分野との融合を図り1985年高橋工業を設立。複雑な曲面鋼板構造物・立体意匠構築物などを設計から製作・施工まで一貫して行う。

津村泰範 / 修復建築家。東京大学大学院工学系研究科(藤森照信研究室)を経て、長野県の古民家再生を標榜する(株)隆幡建築設計事務所に。その後、(株)文化財保存計画協会に移り、文化財建造物や史跡等の保存整備計画・修理や復元の調査設計監理に携わり、現在に至る。

中村 元 / きもの卸・小売業。SMF写真記録係。1940年栃木県足利市生れ。足利市内長板友禅染会社、埼玉県八潮市内注染 染物会社、東京都中央区日本橋浴衣卸会社、埼玉県草加市内絹織物卸会社を経て、1973年絹織物卸業として独立。1978年有限会社 中村元 設立。1989年卸・小売業の店舗をオープンし現在に至る。



KAWAGUCHI ART FACTORY

埼玉県川口市元郷2-15-26 日本金属鑄造工業株式会社内
京浜東北線川口駅東口より徒歩20分
または、東京メトロ南北線直通 埼玉高速鉄道川口元郷駅 出口1より徒歩約5分

川口市芝公民館

埼玉県川口市大字芝3905番地
京浜東北線蕨駅東口より徒歩15分
または、蕨駅東口国際興業バス 蕨06 新井宿駅行 芝公民館入口 下車 徒歩2分